

杉並芸術会館(座・高円寺)芸術監督が決定しました

杉並芸術会館(座・高円寺)は、これまで数多くの舞台芸術作品を世に送り出してきたほか、さまざまな地域企画・活動に携わってきました。区では、これらの芸術・文化事業を効果的に実施するため、事業を統括し、指導や助言等を行う芸術監督を配置しています。

現芸術監督が令和5年6月30日をもって任期満了を迎えることに伴い、次期芸術監督の募集をしたところ、さまざまな経歴を持つ74名の方から応募がありました。文化・芸術活動関係者や学識経験者等の外部委員4名と区職員2名で構成される杉並区立杉並芸術会館芸術監督選考委員会にて、書類審査(第一次)やプレゼンテーション・ヒアリング(第二次)により選考した結果、シライケイタさんを次期芸術監督に任命することになりました。

シライケイタさんは、劇団温泉ドラゴン代表の他、日本演出者協会副理事長、日韓演劇交流センター会長を務めています。任期は令和5年7月1日から令和10年6月30日までの5年間ですが、再任も可能としています。

「杉並芸術会館(座・高円寺)芸術監督」
シライケイタ(活動名)

昭和49年7月6日生まれ(48歳)

蜷川幸雄演出「ロミオとジュリエット」のパリス役で俳優デビュー。その後、野田秀樹、木村光一、鐘下辰男など、数々の演出家の舞台に出演。平成22年、劇団温泉ドラゴン旗揚げ公演にシライケイタとして初戯曲となる「escape」を提供。以降、同劇団内外で数々の脚本・演出を手掛ける。座・高円寺では、令和2年、4年に座・高円寺レパートリーピアノと物語「ジョルジュ」に出演。



受賞歴

- 平成25年 文化庁・一般社団法人日本演出者協会主催による「若手演出家コンクール2013」優秀賞・観客賞(『山の声』)
- 平成27年 韓国、密陽(ミリヤン)国際演劇祭戯曲賞(『BIRTH』)
- 平成30年 第25回読売演劇大賞、杉村春子賞(『実録・連合赤軍あさま山荘への道程』『袴垂れはどこだ』)

【問い合わせ先】

区民生活部文化・交流課：03-3312-2111 内線3781
総務部広報課：03-3312-6855(直通)